

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年7月13日

氏名	[REDACTED]		
所属	外国語学部 ([REDACTED]) 研究科	スペイン語学科・専攻	3年次
派遣先大学	エストレマドゥーラ大学		10ヶ月間

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
2	住居形態の詳細を教えてください。	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LDK)、広さなど (長期的に暮らした住居形態を詳しく書いています。4人の女子留学生そのうち三人メキシコ人、一人がペネズエラ人。四部屋ありそれとは別にキッチン、大きめのリビングがある。(4LDK))
3	入居時手続き	例: Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る (友人からの誘いで一緒に住むことになった。家主が住む一つ上の部屋に行き鍵を渡され住み始めた。デポジットや書類などは一切なかった。)
4	費用 (月額)	175 (€) (食費 食費含まない/月)
5	支払方法	月ごとに現金で、支払い期限は特に厳しい決まりは無くいつ支払いをしてもよい (例: 月ごとに現金で、クレジットカードなど)
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (机、ベッド、電球、毛布)
7	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
8	周囲環境	例: 近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など (街の中心に面しており歩いてすぐのところにスーパー、バス停がありかなり住みやすい環境にあった。)
9	アクセス	例: 大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 (徒歩5分のところにバス停があり、大学まではバスを利用し15分程度で到着する。距離に関係なく一回1.5€)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(今後留学をする学生に対して): (お湯が出ないことがよくあるので注意、夏は40度と気温が非常に高くなるが扇風機や冷房がないので日本から何か持参するのがいいと思う。)
11	引越された方は引越	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート

	し先の住居形態を記入ください。	<input checked="" type="checkbox"/> その他（一軒家）
12	詳細を教えてください	<p>例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り（2LKD）、広さなど</p> <p>（ 私は一年間の内で家を4件替えているので最終的に長く住んでいた住居形態を上記に示している。ここではそれまでに至る3件の家について簡潔に書いていく。まず引っ越して2週間のみスペイン人の女性と犬とで暮らしました。部屋には私専用のトイレ、お風呂、家具一式、寝具一式が用意されており一日10€で借りていた。最終日に現金でまとめて支払う形態だ。家は街の中心に位置しており買い物やバス停も徒歩圏内にあり住みやすかった。その後、スペイン人の家族と約2か月生活を共にした。そこではスペイン人の夫婦と私だけの暮らしで週末になると息子が帰省し一緒に過ごした。食事もすべて込みで125€。支払いは一週間単位で行われ現金で支払う形態だ。家は中心地から少し離れた場所にあったがスーパーやバス停も近くにあったので暮らしには困らなかった。その後学生シェアハウスのサイトで見つけたアパートに引っ越しをした。引っ越しをする一週間前に家を見学し、2日後に契約書にサインし、デポジット125€（部屋の代金）を支払い完了。引っ越しの日には家主から鍵をもらいそこからスペイン人3人と三か月生活を共にした。部屋代の125€とは別に光熱費約20-30€（4人で割り勘した金額）支払った。またWIFIが設備されておらずまた別に20€支払っていた。家は中心地に位置していた為どこに行くにも行きやすかった。)</p>

II. 通信環境について（該当の項目を選択、または入力してください。）

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	例：ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (街にある電話会社に行き直接SIMカードを購入)
4	自宅のインターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）
5	大学内インターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		※現地通貨で記入。（ ）内に通貨単位を記入すること。	
1	宿舍費	150	€ / 月
2	食費	100	€ / 月
3	交通費	30	€ / 月
4	通信費	10	€ / 月
5	娯楽費	150	€ / 月

6	図書費	0 (€) /合計
7	学用品 (教科書など)	30 (€) /合計
8	被服費	40 (€) /合計
9	医療費	30 (€) /合計
10	雑費・その他	50 (€) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む) ※日本円または現地通貨で記入。		
11	出願料・宿舎デポジット	0 (円) /合計
12	ビザ申請関連費	3000 (円) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	151880 (円) /往復
14	その他	30万 (円) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	80万 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 20万円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名: みずほ銀行) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	手続き方法・利点・欠点	24時間いつでもATMで引き落としが可能。特に欠点は無いが現地で銀行支払いするときはその銀行のカードを持っていないとかなり長い時間待たされるので現地で講座を開講した方が銀行支払いの時便利。
19	お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して)	クレジットカードは2枚以上持参するのがお勧め、よくクレジットが切れないことがある為2枚以上は必須

IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類 (例: L2プラン)	(10か月分で103220円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか?	はい
3	(2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行 (留学) 保険の適用を受けましたか?	受けた
4	(3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか?	立替の上、後日返金 その他 ()
5	(4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか?	
6	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか? 理由はなんですか?	蚊よけスプレー、ニキビの塗り薬。日本とは異なる虫に刺されたときに対処する薬が肌に合わずかぶれた。また水や環境の変化で肌に異常がでて処方された薬が合わず留学中完治することが出来なかった為

V. 持ち物について

1 日本から持っていったもの

日本のインスタント食品、調味料、折り紙、箸、常備薬、お菓子、日本語で書いてある参考書や電子辞書、パスポートのコピー、証明書用の個人写真

2 現地で購入したもの

SIMカード、バスタオル

3 (自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの

蚊取り線香、うちわ、日本のお金と国旗、日本語で書いてある小説、カメラ

VI. 留学先で困ったこと

スペイン語しか通じず意思疎通が難しい、日中と日曜日はお店がしまる(図書館も)

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

最初は文化や人々の違いに驚き悩みホームシックになると思いますが、現地の学生や留学生と関わることで留学が100倍楽しくなります。この素敵な機会に是非挑戦したいことがありましたら積極的に行動してみてください！

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真(大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真)を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	学部を選択してください。	学 科	スペイン語学科	三 年次
氏 名				
派遣先大学 (国)	エストレマドゥーラ大学 (スペイン)			
所属プログラム・ 学部・研究科	文学部	履修言語	スペイン語	
留学期間	2018 年 9 月～ 2019 年 6 月			
報告書提出日	2019 年 8 月 19 日			

学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
【記入例】 Fall Semester	9月21日 ～1月21日 (14週)	1月24日 ～2月1日	英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の1週間は履修登録を加除できる。XX先生に相談し、……
Fall semester	9月10日 ～1月4日 (15週)	1月9日 ～1月25 日	大学の授業では事前テストを受けることは無く、各自が受講したい授業を選択し受ける。私の場合は学生チューターとは別に大学教授が学校生活主に履修登録を一緒に手伝ってくださった。まず大学のウェブ上から自分の興味ある教科を選択し時間割を決める。その後に事務で手続きを行い在学証明書としての書類を発行してもらおう。そしてその書類を学校内にある銀行約5€を支払い正式に登録完了となる。履修登録している間にも授業が行われるので完了していなくても興味のある授業に出席し、自分に合うかをみた。正式に履修完了していなければその履修を取りやめることが出来る。 大学付属の語学学校ではまず受講希望者にクラス分

			けテストを行いその一か月後に授業が始まる。費用は各学期 60€支払う必要がある。
spring semester	1月29日 ～5月14日 (14週)	5月23日 ～7月10日	秋学期と特に変化は無く同じようにウェブ上から気になる授業を選択し、手続きを行う。だが、今回は銀行で支払いを行う必要はなく事務で書類の手続きさえ行えばよい。 語学学校では通年選択者はそのままのクラスでまた勉強する為特に手続きは行わない。

1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み ※欄は自動で大きくなるので、充分に記入してください。
		(内訳)	
【記入例】 Fall Semester	International relations IIB	30 時間	講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は[⑥' 【参考資料】 授業時間数について】をご参照ください。
		1 (時間/回) × 3(回/週) × 10(週)	
Spring semester	Lengua inglesa1	60 時間	講義が月、火、水、木曜日に 60 分。月、水曜日はクラスメート全員との授業。主にその場で配布されたプリントの読解および問題を解く。100-200 程度の読解問題から 500 程度の長文読解を 30-40 分行い残りの時間で答え合わせを行う。火、木曜日は小グループに分かれ配布されたプリントに沿って初歩的な単語から教科書に載っている問題を解く。少人数の為グループワーク中心に行い会話をする事が多かった。毎回の宿題として English grammer 用に参考書を購入し授業のたびに 10 ページ各自毎回行う。答え合わせなどはしない。中間試験は行わず、三週間に一回行われる小テストが成績の 30%、期末テストが 70%を占める。小テストは毎回宿題で出される範囲全体からの文法問題が出題される為それに向けて勉強を行う。期末テストは一学期から学んだ文法、読解全体から出題される為早めに復習しておく必要がある。またスピーキングテストも出題される為ペアを決め練習しておく。
		1 (時間/回) × 4 (回/週) × 15 (週)	
Spring semester	Historia de europa	60 時間	講義が火、水曜日に 120 分。全体を通して主に講義形式の授業。ヨーロッパの歴史の授業だがまず人類の歴史から学び、最終的に近現代ヨーロッパの歴史までを学ぶ。中間テストは無く期末テストで今まで習った全てが記述形式で出題される。今回は聴講という形式で受講したのでテストは受けていない。
		2 (時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	

Spring semester	Spanish (語学学校)	40 時間	講義は月、水曜日 120 分で行われる。主に月曜で行った続きを水曜日で行う、また水曜日から新たなテーマで授業を行うこともある。少人数グループな為ペアやグループワークがメインで授業が進む。教科書の問題をその場みんなで解いていく、文法事項なども例文を踏まえながら会話の中で学ぶのがメイン。また教科書に書いてある質問に対してペアで意見を交換し一つの意見を発表するなどアクティビティを通してスペイン語を学ぶ。中間テストは無く毎回の出席と参加度そして期末テストで行うプレゼンテーションが成績の基準となる。期末テストでは学問的なテーマで一人 10 分パワーポイントを使用し発表を行う。
		2 (時間/回) × 2 (回/週) × 10 (週)	
Fall semester	Lengua inglesa4	60 時間	講義は月、水、木曜日。月、木曜日は 60 分、水曜日は 120 分。講師が二人。月、水曜日は読解がメイン。月曜日は主にビジネスライティングや新聞からの記事を読みグループで解決案をまとめ提出。水曜日は netflix の blackmirror シリーズからネイティブスピーカーの英語を聞き理解する。見終えたら各エピソード事に合わせた問題を解き授業の中でディスカッションを行う。また後半の 60 分は ghost writer というオンラインからダウンロード可能な書籍を毎回の授業前に課題として読み、同じく課題をこなす。その答え合わせを授業内で行う。木曜の教授は主に文法をメインに行う。自身で作成したプレゼンテーションから例文や動画を踏まえ文法を学ぶ。ペアワークで実際に会話を踏まえながら学んでいく。初歩的な挨拶や前置詞などケアレスミスしやすいところから長文の中から間違えを探すハイレベルなものまで段階を踏んで行う。中間テストは無く、毎回の課題提出、参加度が 20% 期末テストのライティングが 40%、スピーキングテストが 40%の割合。ライティングではこれまで行った読解 (B1-2 レベル)から出題。スピーキングではペアで絵を見ながらの説明やディスカッションを行う。
		1(時間/回) × 4 (回/週) × 15 (週)	
Fall semester	Gramatica inglesa	60 時間	講義は月、木、金曜日。月、木曜日は 60 分。金曜日は 120 分で行う。月、木曜日は主に一文を品詞分解する。まず主語、述語など大まかに分解した後一つ一つ単語が持つ品詞を分解しそれをサマリーとして文でまとめる。金曜日はグループワークをメインで行う。その場で教授が出した課題を 4、5 人のグループに分かれ行う。その場でプレゼンテーションを行う事もあるが、この時間でまとめその後プレゼンテーション
		1 (時間/回) × 4 (回/週) × 15 (週)	

			<p>を行う。また発表で行われた品詞分解についてクラス全員でディスカッションを行う。中間テストはその場で出された一文を品詞分解し、一つのサマリーとして文章化し word で提出これを 1 時間使い行う。期末テストでは中間テスト同様一つの文章として品詞分解を書く、またクラスメートが考えた問題が実際のテストで出題される。その為クラスメート全員がこれまで行った授業を踏まえ 10 個問題を考える。全部で 300 程度の問題をテスト前に頭に入れておかないといけないのでかなり準備が必要。</p>
Fall semester	Traduccion1	60 時間	<p>講義は月、火、水、木曜日に各 60 分行われる。講師は二人。月、木の教授は主に小説から抜粋した一部を英語からスペイン語に訳す。火、木曜日では毎回の授業でボランティア一名が訳したものを発表し教授含めクラスメート全員で添削、ディスカッションを行う。火、水曜日は新聞や詩からの文を抜粋し英語からスペイン語に訳す。詩の訳は直訳では表せずその背景を想像しながら意識する必要がある為難しい。こちらでは自分が用意した答えをもとにクラスで一つの回答をディスカッション踏まえ作っていく。宿題の提出は無いが毎回の授業で添削を行うので各自翻訳を進めていかないといけない。中間テストではその場で出された分を英語からスペイン語に 1 時間半で訳す。中間テスト後はスペイン語の文章から英語に訳す。やることは変わらないが、スペイン語で文を考えず英語に変換しないといけない為多様な単語を知っておかないといけない。期末テストでは中間テストの反対でその場で出された二つの問題をスペイン語から英語に訳す。</p>
		1(時間/回) × 4(回/週) × 15 (週)	
Fall semester	España y America	60 時間	<p>講義は月、水、木、金曜日で行う。月、木曜日は 60 分、水、金曜日は 120 分。講師は 2 人。月、水曜日はメキシコの歴史主にスペイン征服前の先住民の歴史から現メキシコ大統領までの歴史、またアメリカの先住民文化からオバマ大統領についても触れる。木、金曜日は主に現代スペイン歴史。主に独裁者フランコについてそしてフランコが与えたラテンアメリカへの影響を一学期通して学ぶ。中間テストは特に行わないが、木、金曜日の教授の授業でチリの独裁者ピノチェットについてグループプレゼンテーションを行う。その為私のところはチリのピノチェットとスペインのフランコを比較し、フランコがどのような影響を彼に与えたのか見て比較を行った。期末テストではこれまでの範囲全てから記述形式で出題される。私は今回オーラルテストで受験し、口頭で質問に答える形式を行った。</p>
		1 (時間/回) × 6 (回/週) × 10 (週)	

Fall semester	Spanish(語学学校)	40 時間	講義は月、水曜日で各回 120 分行われる。一学期と通年で行われるので続きから授業が始まる。会話中心にペアやグループで教科書に沿った問題をディスカッション含め行う。中間テストは無く一学期同様出席、参加度そして期末テストで決まる。今回も期末テスト各一人が学問的なテーマでプレゼンテーションを行う。それについて後からみんなでディスカッションを行う。
		2 (時間/回) ×2(回/週) ×10(週)	

※表の行が足りない場合は、必要な数だけコピー&ペーストで増やしてください。

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

心がけていたことはまず受講する前に教授とお話をし、どのような内容なのかをしっかりと把握したうえで受けていた。また課題があるときは期日までにしっかりと終わらせる。授業でどうしても分からないところや疑問があれば近くの友人や授業後に質問に行き解決させてから次の授業に取り組んでいた。復習としてその日に解決出来なかったところはわかるようになるまで問題を解く。またスペイン語で受講しているものであれば教授やクラスメートに聞き、その日のサマリーをパソコンに移してもらうなど分からないところは無いように心がけていた。

1.3 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

留学前は挨拶程度の会話力しかなく留学前は非常に不安でした。単語力がなかった為到着後すぐ挨拶した後には会話が続かなくどうしてよいか分からないことが多かった。しかし、大学の勉強が始まり語学学校も始まるとこれまで以上にスペイン語に触れるようになり聞き取れる単語や吸収するセンテンスも多くなり徐々に日常会話ができるようになりました。一番スペイン語が伸びたと思う要因として毎回外に出てスペイン語に触れることだと感じました。勉強も大事ですが友人よ会話する事でリスニング力、会話力そして新しい単語も無意識のうちに覚えることが出来る為急激に向上した要因と思います。私は新しい単語を忘れないよう常に携帯のメモ機能の欄に書き留めて空いた時間に見て覚えるようにしました。また授業で習った単語や文法は早く覚えるようにノートに書き留め、帰宅後ルームメイトと習ったことを会話に交えて覚えるなど常にスペイン語を使うことで日本語で考えるのではなくスペイン語でものを考えるように変化しました。

1.4 研究について（※大学院生のみ記入）

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

大学での授業は主に英語と歴史の授業を受講しました。内容は日本に比べ非常にレベルが高く、またグループプレゼンテーション、ディスカッションなど聞いているだけでなく自分からアクションを起こさないといけないというギャップに当初苦労しました。しかし自分から行動を起こしチームで協力し、期限までに完成させる。この一連の考えをやっていくうちに瞬時に何を最優先して行うかを考え実行することを学びました。授業では講義形式のものもありますが多くがチームで協力して一つのアイデアを作り出すことが多いので私はクラスメートとの関係を大切にしていました。当初は話しかけるのもためらいましたがグループワークを行ううちに多くの人と会話し多様なアイデア、意見を交換しあうことで何故自分かそう思うのか、その裏にはどのような証拠があるのかをきちんと述べないと意見が通らない、またはいない存在になってしまう。その為自分の意見を持ち相手が納得するようにあらかじめ勉強しておくこと知識を持つことが非常に重要だと実感しました。グループワークでのプレゼンテーションでは自分たちで題を決めそれぞれが自分の担当箇所を準備しておく。一度ペアでのプレゼンテーションの時相手の学生が何もやらず私一人で全てをやらなければいけない状況がありました。やはりその時は焦りを感じましたが今最優先して行うべきことを整理し準備したことで無事終わることが出来ました。その最悪の場合にならないよう事前に集まり、やることを整理する。そして分からないことがあればグループみんなで意見交換や調べを行う。チームでの仕事は必ず支えあいながら疑問点がないかなど入念に行う事で一人では考えることが出来なかった新たなアイデアが生まれよりよい発表が行えると思えました。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

反省点としてまず興味がある科目は事前にリサーチし、授業に出遅れないようにすることが重要です。私は履修の仕組みにてこずってしまい最初の授業に出席することが出来ませんでした。その為途中参加で授業を受けなければいけずレベル分けテストや宿題参考書の情報など他の画学生よりも出遅れてのスタートになったことを後悔しています。しかしその場で諦めることはせず、毎回授業後に教授そしてクラスメートに質問をし、課題の情報やグループワークへの参加など積極的に行動した為その後の授業に影響が出ることはありませんでした。しかし前もって調べで情報収集を行うことが一番の近道だと思えました。

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

留学生活では学校での勉強以外にも学生や現地の人々との生活を通し人との関わりが重要だと再認識しました。留学中は言葉が通じず書類の手続きや支払い方法など分からないことが多くそのたびに周り
の人々が支えてくださいました。まだスペイン語がうまく話せない私に友人たちはゆっくりと分かるよ
うに話してくれるなど不安でいっぱいだった生活を少しずつ楽しいものに変えてくれました。学校でも
気さくに声をかけ積極的に交流を行う事で多くの友人をつくることで内気だった性格が積極的に変化
し、人との関わりを好むようになることが出来ました。また、今まで日本では当たり前暮らせていた、
出来ていた事も留学してからその大切さに改めて実感することが出来ました。支えてくれる家族、大学
側そして友人がいるからこそ充実した留学生活を送ることが出来るようになりました。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

反省としてはシェアハウスをするときの契約書をよく読まずにサインしてしまったことです。急いで部屋を探していたこともあり家の状態をゆっくり見ずにすぐに契約してしまったために最終的に自分に合わず部屋を出ることになりました。しかし六か月契約をしてしまったために出ることが困難になり大家さんと金銭的な問題でもめる事態になってしまいました。その為新たな住人を自ら見つけたことでまるく収まりましたが今考えればきちんと契約内容を話し合ってから見つけることが最善の案だと感じました。

現地では全て自分でアポから契約を行わないといけないのでかなり時間がかかります。しかし自分で行うからこそその場での新たな出会いを発見することが出来ます。私は最初スペインの文化を知る為にホームステイを行い生活面や街の情報を得ることが出来その後シェアハウスしたことで自立した生活を送りました。学生と暮らすことで学校の情報や新たな友人との出会いもありホームステイでの生活ともまた違う体験が得られます。体験したいと思ったらすぐに行動に移しチャンスを逃さないように準備することで今までの視野が大きく広がると思います。充実した留学生活を送ってください！

※作成できましたら国際センターまで、Feelnote のプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留学修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。